

12

No.536  
DEC.2015

# 茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email [info@ikk.or.jp](mailto:info@ikk.or.jp)

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

## CONTENTS

- 01 平成27年度第3回理事会開く  
県政への提言・要望書の提出を承認  
  
県北県央ブロック合同経営者懇談会を開く  
「リーダーであるべき姿 ～人を導く情熱が人を育てる～」  
講師：松本育夫氏
- 02 茨城大学寄付講座  
「社会人に向けてのコミュニケーションスキル」  
関東道路株式会社 代表取締役社長 武藤正浩氏
- 03 「企業で、成長する人材」  
東京フード株式会社 代表取締役社長 丹羽弘氏
- 04 委員会報告  
政策／労働企画
- 05 支部だより  
水戸・鹿行合同／土浦・石岡・つくば／鹿行／茨城産業会議
- 07 「留学生つまみぐい販促会議」プログラムの事例報告＜(株)商輪＞
- 08 「2015会員増強運動」の状況  
～会員数958社 新たな目標に向かって上昇気流～  
  
新入会員の紹介
- 09 平成27年度特定（産業別）最低賃金が決定
- 10 NPO情報Vol.182＜横田能洋＞  
「常総のコミュニティ再生のためにご支援を」
- 11 役員力⑨＜葛田一雄＞  
「問題を解決する」
- 13 セミナー・事業等のご案内

## 上期事業活動を報告 県政への提言・要望書の提出を承認

当協会は、10月29日(木)、水戸市・三の丸ホテルにおいて、本年度第3回理事会を開催した。

鬼澤邦夫会長((株)常陽銀行取締役会長)はじめ理事、監事、参加が出席した。

冒頭、鬼澤邦夫会長が挨拶に立ち、「本日はご多用の中を、第3回理事会に、ご出席をいただき誠にありがたく感謝申し上げます。まずは、9月に起きました関東東北豪雨で被害を受けられました関係者の方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、1日でも早い復旧を願っておるところです。本日は、上期の事業活動報告と茨城県政への要望などについてお諮りする予定です。9月8日に県警本部と「ニセ電話詐欺の撲滅に関する覚書」を締結させていただきました。



ニセ電話詐欺は被害額こそ昨年度より減っていますが、件数は逆に増加しております。

す。各社の従業員の方に月に1度、給料日くらいは離れて住んでいる親御さんに連絡して注意を促すよう伝えていただくと大変ありがたい。本日は忌憚のないご意見をお願い申し上げます」と挨拶。

次に鬼澤会長が議長となり以下の議案が報告・審議され、それぞれ承認された。

- ① 平成27年度上期事業活動(会長、専務理事の職務遂行状況報告)
- ② 会員増強運動の状況について
  - ・平成27年度末の目標会員数を970社に変更
- ③ 平成27年度新会員の入会の承認を求める件
- ④ 茨城県政への提言・要望案について
- ⑤ 行政などからの要請事項について

特別講演として、株式会社高島屋日本橋店顧客グループ部長の敷田正法氏より「最高のおもてなし～人の心を動かす“気遣い力”とは～」と題し、お客様との信頼関係を“CS”からさらに高揚させた“お客様感動”(customer delight: CD)についての講演があった。

終了後、本年度の新会員を招いての新入会員歓迎交流懇親会を開催、盛会裏に終了した。

## 県北県央ブロック合同経営者懇談会を開く

県北地区支部(支部長 三浦利春氏(株)茨城サービエンジニアリング代表取締役社長)、日立地区支部(支部長 土屋静治氏 日立電鉄交通サービス(株)取締役社長)、常陸・那珂地区支部(支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役社長)、水戸地区支部(支部長 西村寛氏(株)水戸京成百貨店代表取締役社長)は4支部共催により、11月5日(木)、ホテル天地閣において、**県北県央ブロック合同経営者懇談会**を開催し、82名の出席を頂いた。

始めに主催者を代表し、土屋日立地区支部長より「本日の合同経営者懇談会は、支部の垣根を越え、より広域的に会員の皆様の交流促進の場として例年開催させて頂いている。業種業態の異なる皆様が交流を深め、新たな発見や気づきが得られる有意義な機会となるよう期待している。本日のプログラムにも“意見交換会”のお時間を設けており、積極的に名刺・情報交換を行って頂きたい」と挨拶頂いた。

続いて、来賓を代表して加子副会長より「経協事業において、本年度は3ヵ年の活動指針である“第7次中期運営要綱”の中間年度であり『会員、地域から頼りにされる茨城経協へと進化する』という基本方向に則り事業を進めており、役員はもとより、会員の皆様のご協力により活動展開できていることに誠に感謝を申し上げます。会員増強活動においても、本年度目標の950社を上期の内に達成できたのは大変有難い。今後とも引き続き、協会運営へのご協力を

お願いしたい」と挨拶頂いた。

併設の記念講演会では「リーダーであるべき姿～人を導く情熱が人を育てる～」と題して、サッカー解説者 サガン鳥栖&川崎フロンターレ元監督の松本育夫氏をお招きしてご講演頂いた。

座右の銘を“全力に悔いなし”とする松本氏から語られる現役時代から指導者として経験されてきた自らの体験をもとにした数々のエピソードは感動を誘い、出席者の中には目頭を熱くする方も多数見受けられた。

講演終了後には、交流パーティも行われ、講演頂いた松本氏にもご臨席を賜る中、鬼澤会長はじめ、三浦県北地区支部長、西村水戸地区支部長を中心に、終始和やかな雰囲気の中、会員間の交流が進められた。



# 「社会人に向けてのコミュニケーションスキル」

関東道路 株式会社 代表取締役社長 武藤 正浩氏

皆さんは「関東道路」と聞くと道路工事を行う会社と思われるでしょうが、それ以外にも皆さんの家庭から出る可燃性のゴミを、当社の設備を使って道路舗装の合材や砕石や砂利に100%利用するという、環境リサイクル事業を行っています。筑西市・結城市・桜川市の各自治体と協力して地元で出したゴミを地元で使い切るという「ゴミの地産地消」に力を入れており、この事業で国土交通大臣賞を頂戴し、全国の環境ビジネス展などで講演を行わせて頂きました。

実は私は薬剤師ということで、以前にはアメリカで仕事をしており、そのアメリカでは医療資格者のステータスが非常に高いのです。それは、仕事を通じて会話をするコミュニケーションスキルが高く大切にすることがその理由です。アメリカの医療系大学で学生向けに必ず行うコミュニケーションスキルに関する授業の内容を、日本の医療従事者向けに持ち帰り医師会・看護師会・薬剤師会などでの講演や私立薬科大学での非常勤講師として伝えてきたことの一部を、皆さん向けにアレンジしてお伝えします。

日本人が一番不足しているスキルはコミュニケーションスキルであります。皆さんは今、日常生活で主に友達や家族とかと会話をしています。これが社会に出ると全く通用しなくなります。フレンドリーの会話からビジネスの会話に変わってきます。自分の意思をどれだけ相手に知ってもらえるかが、一番大事になってきます。社会に出ますと仕事の対

価として給料をもらうための「結果」が常に求められることとなります。仕事は1人では出来ません。上司や部下をはじめ別世代の人達全てと協力し合って行わなければなりません。仕事の会話の中で、伝えたいことを「相手に言った」だけでは結果は出ません。相手が行動して初めて結果につながります。伝えただけで相手が行動するところまで責任を持つ必要があるのです。伝えただけではただの伝言ゲームです。例えば薬剤師の世界では、患者に薬を渡すだけではだめです。患者が薬を飲んで初めて結果がついて付いてくるのです。

結果を出すために、社会人として成功するために必要なものが「Assertion」(アサーション)です。Assertionは日本語に訳すと「主張」ですが、英語と日本語では意味が大きく違ってきます。単なる自分の言いたいことを言うだけの主張とは違います。Assertionとは、相手が理解し、納得し、行動に移してくれる説明(会話)を意味します。Assertionを実行するために必要なこと、それは相手の気持ちを Respect(リスペクト)・尊重することです。日本語では真心という言葉があります。相手の立場に立って物事を進めることが必要なのです。

日産自動車のカルロス・ゴーン社長は、就任1年で年間3,000億円の赤字から年間3,000億円



の黒字にしました。カルロス・ゴーン社長が行ったこと、それは1年間全ての事業所、工場の各部署に出向き、10人規模の小さいミーティングまでにも顔を出して社員に伝えて回りました。「今ある自分の仕事を全うするために仕事をする考えを、次のセクションの人達の仕事がやり易くなることを考えて、今の仕事を全うして下さい」これを徹底して社員の考え方を変えたことが、仕事の効率化に繋がりました。真心を持って、仕事の責任を果たす、結果を出せるためのコミュニケーションスキルとして一番大事なことが Assertion だということをお伝えください。

最後に皆さんへのメッセージがあります。皆さん新聞を読んでもらいます。新聞というのは、今日本にある政治・経済・文化をはじめ、世界の情報の塊です。新聞を読むと色々な知識と大きな環境が分かります。学業も雑学も両方大事です。身近な自分の最大の情報源だと思って「新聞を読む」という癖をつけることをお伝えします。

# 「企業で、成長する人材」

東京フード株式会社 代表取締役社長 丹羽 弘氏



今日のタイトル「企業で、成長する人材」、私の経験上からの結論を申し上げます。こういう講義の時に『前から5列目までに座った学生の皆さん』が、その資質のある人です。話す人に顔を覚えられ、企業でチャンスを与えられるきっかけになりうる人材といえます。

東京フードは業務用チョコレート製造販売を行っている会社です。会社説明会で学生に業務用チョコレートのイメージを聞くと、「でかい・安い・段ボール・名前知らない」。ビジネスの形態でいうと「B to B」Business to Business。つまり、当社のお客はビジネスをされているプロの方になります。そのプロの方々に、製品の良さを認めていただく、これが原点です。そしてお客様と協力して商品を開発し、出来上がった商品を消費者に買っていただく。「B to B to C」でビジネスが成り立っているといえます。

当社従業員の男女構成は、約半々、最近女性比率が多くなってきています。そして女性正社員の3分の1がママさん社員ですが、産休後には、ほぼ100%職場復帰していただいています。

私は、2010年の時に、5年間で生産年齢人口(15歳~64歳)が日本で約300万人減少したことを知りました。人口減少を

食ビジネスの観点から考えると、胃袋数が減る、働き手が減ると捉えられます。その時に辿り着いた結論が「女性活躍が企業の生きる道」。女性という戦力が長く働き続けられる会社にしなさいといけない、と考えました。そのために必要なことは「育児と仕事の両立」、今考えると時代の先取りです。『言葉が変われば意識が変わる』。当初は女性活躍活動・通称「女活」という名前でプロジェクトを立ち上げましたが「活躍しなければ」の意識が強くて良い発想・アイデアが出てきませんでした。ある方の「女性はプライベートも仕事もエンジョイし成果を出したい、と考える」をヒントに、女子のenjoy会・略して「女en会」と名称を変え、女性社員だけでミーティングを重ねたところ、日常的な女子会・生活者視点の発想が加わり、消費者目線からの、女性の特徴が出た良いアイデアが生まれ成功しました。言葉・呼び方が変わると意識が変わる、ポイントとして覚えて下さい。

『頭の中に仮説を立てられる人』・・・言われたことを理解し、仮説を立て、チャレンジ・行動できる人、これが社会に出てから成長、成功できるかどうかのポイントになります。

皆さん、頭の中に3つの○(マル)を若干重なるように描いて下さい。上の○がWant(自分のやりたいこと)、左下の○がCan(自分ができること)、右下の○がMust(やらなければならないこと)。企業社会において、3つの○の重なりが大きくなっていくのが成長の理想ですが、Mustという言葉を知ると、圧迫感があり窮屈な印象

を受けるのではないのでしょうか。そこで、MustをMissionに変えて考えてみてください。言葉が変わると意識が変わるということは、ここでも実感していただけたと思います。

皆さんは現時点では、ひよこです。ただ、ひよこの魅力は成長が早いことです。企業の戦力として様々な業務をこなせるよう、企業は皆さんに教育・訓練をします。

『Serendipity(セレンディピティ)』という言葉を知っていますか? ガラクタ市に行って掘り出し物を見つける能力の意味があり、私が企業人に求める能力です。要は感性です。感性の鋭い人間のポイントは、失敗を恐れずにトライすること、トライが多い人ほど感性が鋭い。

元プロ野球選手・監督で成功された野村克也氏は「成功の反対は失敗ではない、何もしないことである」と言いました。何もやらなければ失敗はないということです。常にWhy何故?と考える癖をつけ、頭の中で仮説を立て、新しいことにチャレンジして行って下さい。

最後に皆さんに朝日新聞「折々のことば・鷺田清一」から1つの言葉を贈ります。『人と違うことをして目立つのは誰でもできる。人と同じことをして秀でなさい。』

多くの若者は就職先を選ぶにあたって「自分にしかできないこと」は何かと思ひ悩む。だが、新入社員にその人しかできないことをさせる会社はない。何を任せられるかを判断するために、誰にでもできることをまずさせ、点数評価ではなく、どんな工夫や努力をするかをじっと見るのです。

## 政策委員会

## 理事会提出議案等について意見交換

10月29日(木)、第2回政策委員会(正副会長・各支部長・各委員長等主要役員会議)が水戸市・三の丸ホテルにて開催され、会務報告、理事会提出議案として上期事業報告、県政要望・提言案、などについて意見交換が行われた。

鬼澤邦夫会長の挨拶のあと、加子茂副会長が議長となり議事を進めた。

会務報告では、会員状況、会計状況、行政の動向などが澤畑

専務理事より説明があった。

理事会提出議案の①平成27年度上期事業活動の報告、②会員増強運動の状況、③平成27年度新会員の入会の承認を求める件、④経協としての「県政に関する要望案」と茨城産業会議の「県政要望」の進捗状況と案文について事務局より説明があり、理事会への提出が了承され



た。

その後、各地区支部長、各委員長間の意見交換がなされた。

## 労働企画委員会

## 労働法セミナーを開催



労働企画委員会(委員長 館岡司氏(株)日立製作所電力システム社日立事業所副所長)は11月20日(金)水戸京成ホテルにて、労働法セミナーを開催した。

本労働法セミナーは、当協会顧問弁護士をお務め頂いている大和田・谷田部法律事務所の

大和田一雄弁護士に、実務に役立つ最近の裁判例の紹介と各種問題社員に対する法的対処法のポイントについて、全3回シリーズで学ぶ企画。全3回の第2

回目のセミナーでは、実務に役立つ最近の重要裁判例として、東京地裁平成25年12月5日判決の阪急交通社事件を事例として「派遣労働者らが加盟した合同労組(地域ユニオン)から派遣先に申し込まれた団体交渉の要求に派遣会社が応じる義務があるとされた事例」を解

説された。ポイントとしては、派遣先企業が労働者派遣法の原則的な枠組みを超えて遂行されたりして、派遣先企業が派遣労働者の労働条件を現実的かつ具体的に支配・決定している場合には、団体交渉義務を負う場合があるので留意が必要。派遣先企業が合同労組からの団体交渉に応じる義務があるか否か判断がつかない場合には、法律専門家に相談したうえで対応を決めることが望ましい。

次回第3回セミナーは12月17日(木)13:30~16:30、会場は水戸京成ホテルにて、開催予定となっている。

合同臨地研修会を開催

水戸地区支部人事労務担当者会議(代表幹事 川上康郎氏 茨城交通(株)常務執行役員総務部長)、鹿行地区支部労働問題研究会(座長 石田晃康氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所 労政人事室長)は、合同の臨地研修会を11月17日(火)に開催、20名が参加した。

今年度は、特殊バルブ機器や特殊精密流体機器において国内外で大きなシェアを誇り、ものづくりに関する様々な賞を受賞している(株)フジキンのつくば先端事業所を見学。

当日は、「科学万博つくば85」の会場跡地に建設された研究施設内の洗浄度世界トップレベルのウルTRASーパークリーンルーム、超精密ながれ(流体)制御機器の生産現場および最先端の環境制御技術を駆使した「ちょうざめ(キャビアを産む高級淡水魚)」の人工飼育現場を見学させていただいた。また、TBS系列の連続ドラマ「下町ロケット」の撮影現場として使用された施設も公開していただき、同番組を視聴している参加者の琴線に触れたものとなった。

参加者からは、「とにかく、生産現場が整然としており、無駄がない。製造過程も分かりやすく大変参考になった」、「バルブの製造技術が波及し、困難と言われるチョウザメの人工飼育を確立するなど豊富な人材を適材適所に活用しているすばらしい企業だと感じた」などの声が寄せられた。

見学終了後には、つくば市内で参加者間の交流を図り、散会した。

フジキンつくば先端事業所を見学



見学終了後には、つくば市内で参加者間の交流を図り、散会した。

見学終了後には、つくば市内で参加者間の交流を図り、散会した。

土浦・石岡・つくば地区支部



土浦・石岡・つくば地区支部 (支部長 本井正氏 日立建機)

(株)執行役開発・生産統括本部 副本部長)の人事労務研究会(代表世話人 塚崎俊一氏 関東情報サービス(株)常務取締役)は11月19日(木)、(株)カスミつくばセンター会議室において第2回情報交換を開催した。

本会合での情報交換テーマは「各社のマイナンバー制度への対応の進捗状況と課題」。情報交換に先立ち、齋藤金融・年金・

労務相談事務所副所長の船橋信正氏から、「マイナンバー制度、準備事例と今後の対応」をテーマに発表を頂き、その後、各社の対応状況や疑問点などを意見交換した。

次回会合は、1月25日(月)、つくば市ホテルベストランドにて「各社の若手社員の人材育成、早期離職防止策」をテーマに情報交換を行う予定。

鹿行地区支部

鹿行地区支部(支部長 竹中弘明氏 新日鐵住金(株)鹿島製鐵所 副所長)は、10月27日(火)、神栖市の鹿島セントラルホテルにおいて、本年度の支部総会を開催し、56名が出席した。

冒頭、竹中支部長より「当支部では、昨年支部総会以降、新たに7社の企業さんにご入会頂き、本日の総会にもご出席頂いております。是非皆様で交流を深めるなど有意義なお

鹿行地区支部総会を開催

時間をお過ごし頂ければ幸いです。会員の皆様のご協力により、組織力強化に向けた会員増強活動は順調に推移しております。改めて皆様に御礼申し上げますとともに、よ

り対外的にも影響力のある経済団体となりますよう、今後とも引き続き支部運営へのご協力をお願い致します」と挨拶頂いた。

続いて、加藤事務局長より経営者協会の重点事業を、原一也幹事長（(株)タイヨー総務部長）より支部活動の進捗状況が報告された。

特別講演会では、「肩のこらない会員交流」を主とした会合となるよう、相続・遺言・事業

承継など身近に起こり得る課題や問題を“落語”を通じ面白く分かり易く解説頂ける行政書士 きざき法務オフィス代表木崎海洋氏をお招きし「落語で学ぶ相続・遺産・後見」と題してご講演頂いた。

併設の交流懇親会では、替地享二副支部長（鹿島都市開発(株)代表取締役社長）の挨拶によりスタートとし、支部の会員からご提供頂いた商品等を出席者の“お土産”としてお持ち



帰り頂くとともに、抽選会も行われるなど大変盛り上がった支部総会となった。

## 茨城産業会議

## 茨城大学工学部研究室訪問交流会を開催



茨城産業会議（鬼澤邦夫議長：経営者協会が事務局）は、大学との産学連携事業である「茨城大学工学部研究室訪問交流

会」を10月28日（水）に開催した。

この研究室訪問交流会は、平成13年に茨城産業会議と茨城大学が産学連携協定を結んだことをきっかけに始まり、工学部訪問は今年で13回目となる。本交流会は、日頃の研究情報の入手や産学間の人的交流を通じて、県内産業の活性化を図ることを目的に例年実施している。

当日は、産業界から74名が

参加。工学部附属教育研究センターの5つの研究室と新任・若手研究者の4つの研究室のなかから希望する研究室を訪問し、先進的な研究内容に触れることができた。また、今年度は、研究成果だけでなく、就職・インターンシップ状況についての報告がなされ、コミュニケーションタイムを通じて学部生との深耕を図ることができた。

## 茨城産業会議

## 平成27年度茨城大学・茨城県・茨城産業会議連携講演会を開催

茨城産業会議（鬼澤邦夫議長：経営者協会が事務局）は、平成27年11月11日（水）、京成ホテルにおいて平成27年度茨城大学・茨城県・茨城産業会議連携講演会を開催した（148名が参加）。連携講演会は毎年開催し、今回で9回目となる。

今年度は「気候変動による健康への影響：猛暑への適応」をテーマに、急激な地球温暖化による熱中症・感染症をはじめとする気候変動の健康への影響及びその適応策について、世界的に著名なクリスティ・イーバ

イ氏（ワシントン大学教授）による基調講演（同時通訳）のあと、本田靖氏（筑波大学教授）と小林陸生氏（国立感染症研究所主任研究官）が「日本における気候変動の健康影響」に関する事例報告をされた。その後、講演内容を基に受講者からの質問事項を題材とした総合討論を実施、参加者からも積極的に質問や意見が述べられた。

受講者からは「地球温暖化、気候変動、健康への悪影響の関連性について理解を深めることができた。こうした問題は

身近なものであり、温暖化がこれ以上進展しないよう自覚心を持ち、動向に関心を強めたい」といった感想が寄せられるなど、充実した講演会となった。



# 『留学生つまみぐい販促会議』プログラムの事例報告

～輸出商品・外国人観光客むけお土産の商品開発と販売計画の提案～

茨城大学ベンチャー 株式会社商輪

代表取締役 黄 磊

『留学生つまみぐい販促会議』プログラムとは、地元の特産品等をどうやって海外に販売・流通させるか、また売りたい国の文化・風習に合わせた商品づくりなどに悩んでいる企業の為に、高いコストのかかる海外展示会・商談会に参加する前に、日本文化になじみ、国際感覚に優れている外国人留学生モニターを活用し、外部視点から、味や売り方、販売戦略等を一緒に考えることで、海外輸出またはインバウンドで外国人観光客向けの商品開発をサポートするプログラムです。

<事例紹介（2015年7月実施～10月）>

実施企業：金砂郷食品株式会社

留学生モニター：10名（国籍 中国9人、モンゴル1人）

テーマ：「留学生モニターによる母国市場むけ納豆の販売計画提案・発表会」



納豆試食と評価会



母国向け納豆の販売計画提案書

★そこで、海外事業立ち上げのキーマンとして留学生の採用決定！

留学生モニターのうち中国人留学生1名（筑波大学院博士）の採用が決まりました。内定前のインターンシップではドイツ・フランス展示会へ社長と同行し、世界のバイヤーへ金砂郷食品の納豆商品をPRしました！

## 今後の予定

- ・2016年1月16日（土）12:30～17:30 常陽つくばビル  
『第7回茨城県中小企業と留学生の交流フォーラム（第3回留学生ドラフト会議）』
- ・2016年2月16日（火）『常陽食の商談会』留学生によるテストマーケティング（試食と評価）

<お問い合わせ先>

株式会社SHOOWA（商輪） 留学生ドラフト会議事務局

〒310-0021 茨城県水戸市南町3-3-46 天下堂ビル4A

TEL：029-231-7432 Mail：info@shoowa.co.jp HP：www.shoowa.co.jp



# 『2015 会員増強運動』の状況

～ 会員数958社 新たな目標に向かって上昇気流 ～

会員の状況 (11月30日現在)

項目	支部									
	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計
26年度末会員数	39	94	80	259	133	66	71	53	103	898
入会数	1	9	13	21	23	2	1	2	2	74
退会数		1	2	3	2		3	1	2	14
会員数	40	102	91	277	154	68	69	54	103	958
前年度比										60

平成27年度目標 (年度当初目標)	970 (950)
----------------------	--------------

目標比	▲12 (8)
-----	------------

## 新入会員紹介

### (株)東京商工リサーチ 水戸支店

■支店長 内山 裕次



**Data**  
所在地/水戸市南町3-4-14  
明治安田生命水戸南町ビル  
T E L 029-224-2741  
F A X 029-224-2372  
業 種/情報提供サービス業  
従業員/20名

**Appeal point**  
当社は信用調査会社として国内最大級の約300万件の企業情報、143万件の事業所情報とともに世界最大の企業情報サービス会社Dun&Bradstreet社とのアライアンスにより全世界200ヶ国超、2億4,800万件以上の企業情報をワンストップで供給できる体制を構築しております。グローバルネットワークで売上拡大のための「攻め」のデータから与信管理等の「守り」のデータまで攻守両面取り揃え、県内企業様のあらゆる経営課題解決のお手伝いをするための取り組みを推進しております。

### 株式会社フロンティア水戸 (ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸)

■代表取締役 川井 行夫



**Data**  
所在地/水戸市大工町1-2-3  
トモスみとビル4F  
T E L 029-300-2050  
F A X 029-300-2052  
業 種/ホテル業、不動産賃貸業  
従業員/14名

**Appeal point**  
大工町1丁目地区市街地再開発事業によるプロジェクトタウンの運営者として、ホテルや複合モールの運営により、まちのにぎわい演出や地域社会への貢献を担います。ホテル事業としては、最大客数500名程度の大宴会場を中心とした婚礼宴会サービスと、161の客室による宿泊サービス、100席程度のレストランサービスを備えた、「ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸」を運営します。宿泊は、リッチモンドホテルグループと業務提携し、お客様に満足いただける質の高いおもてなしサービスを提供します。複合モール事業については、様々な業種の各一流業態を誘致し、中心市街地の利便性を向上できる複合モールによる多様なサービスを提供する、「トモスみとビル」を運営します。

## 平成27年度 特定（産業別）最低賃金が決定

（鉄鋼業、電気・精密機械、一般機械、各種商品小売業の各業種で大幅増額改定）

茨城県内で働く労働者に適用される茨城県最低賃金（略称＝県最賃、地域最賃）は、時間額747円（対前年+18円）となり、既に発効されている。

地域最賃を補完する意味で設定されている4業種の特定最低賃金について、茨城地方最低賃金審議会（武田隆志会長）は、関係労使からの意見聴取、賃金実態調査結果等を検討して、本審議会において、改定の『必要性有り』を答申し、専門部会を設置して9月24日より金額審議を行った。

各業種の専門部会は、鉄鋼業、一般機械器具製造業、電気・精密機械器具製造業、各種商品小売業の4業種とも10月末に結審した。下表の通り時間額を決定し茨城労働局長に答申した。

専門部会の金額審議で、鉄鋼

業では、人材確保や未組織労働者の労働条件引き上げ、他県との水準格差是正を主張する労働者側に対し、鉄鋼市況の悪化や中国経済の減速により先行き見通しも不透明、中小零細企業への配慮が必要と使用者側は主張したが、最終的には、851円（現行+17円）で使用者側反対、公益及び労働側賛成で本審に答申した。

一般機械製造業においては、使用者側は、中小零細企業の経営実態は厳しく未満率等から高めの引き上げは考えられないと主張したが、最終的には現行+14円の公益見解が示され、825円（現行+14円）で全会一致で結審した。

電気・精密機械製造業では、使用者側は、電力や原材料費の上昇、中小零細企業の厳しい経営環境と実態を考慮すべきと

主張した。最終的には、現行+15円の公益見解が示され、821円（現行+15円）で全会一致で結審した。

各種商品小売業では、価格競争の激化、消費税引き上げによる落込み、中小零細企業の経営実態に配慮すべきと使用者側は主張したが、最終的には、現行+15円の公益見解が示され、795円（現行+15円）で全会一致で結審した。

4業種とも賃金指標の実態から見ると大幅な引上げ額であり、特に電気・精密機械器具製造業、各種商品小売業においては、影響率（改定による引上げ後、改定額を下回る労働者の割合）が10%を超える割合となっており、経営への影響が懸念される結果となった。

### 平成27年度 茨城県特定最低賃金

		県最賃 (地域最賃)	鉄鋼業	一般機械 器具製造業	電気・精密機械 器具製造業	各種商品 小売業
改定前	時間額(円)	729	834	811	806	780
	※未満率%	0.99	2.98	4.50	10.25	13.56
増加額	時間額増額	18	17	14	15	15
	(同上増加率%)	2.47	2.04	1.73	1.86	1.92
改定後	時間額(円)	747	851	825	821	795
※	影響率(%)	2.51	3.46	5.38	14.51	22.88
	適用労働者数(人)	1,073,500	9,500	40,600	36,200	5,600
	効力発効(予定)日	10月4日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日

#### 最低賃金・基礎用語

県最賃＝地域最賃・・・茨城県内で働く全ての労働者に適用される最低賃金額

特定最低賃金・・・特定の産業の労使が、地域最賃より高い最低賃金が必要と認める場合に設定する。

未満率・・・現在設定されている最低賃金を下回っている労働者の割合。

影響率・・・最低賃金を改定した場合、その改定後の最低賃金を下回る労働者の割合のこと

## NPO情報

NPO information

Vol.182

### 常総のコミュニティ再生のためにご支援を 電気毛布を介した「ぬくもりのバトンをつなげよう」 プロジェクト

茨城NPOセンター・commons代表理事 横田 能洋

9月10日に鬼怒川の決壊などにより生じた水害では床上浸水被害が3千世帯を超え、未だに元の暮らしに戻れず住宅や生活再建の見通しが立たない住民が多くいます。その一方で、災害から3ヶ月近くが過ぎ、常総で未だに厳しい在宅避難生活をしている人が多くいることは忘れられがちです。

今、私たちが懸念しているのは、アパート暮らしだった方や、持ち家の再建が困難な方々が市外へ流出して孤立したり、家を修理できる世帯とできない世帯で格差が広がりコミュニティが分断されていくことです。11月末に多くの避難所が閉鎖され、被災者の状況はより見えにくくなっています。

#### ●目的は、身も心も温まるプレゼントを届け、思いが行き交うようにすること

避難所や在宅で長く日自由な生活を続けてきた人が、どのようなことを経験し、今何に困っているのか、その情報を当事者が発信し、常総市民だけでなく多くの人に状況を知っていただくこと、生活が一変し先が見えない

中にいるのは自分だけではないと感じることで、厳しい状況を乗り越える一助になればと企画したのが、「ぬくもりのバトンをつなげよう」というプロジェクトです。

具体的には、個人や事業所からの寄付金を財源に購入した電気毛布(約7千円)を避難所閉鎖でバラバラに転居したり、在宅避難を続けている世帯に届けながら、被災した住民のメッセージを募り、内容をwebに掲載したり、ラジオで紹介いただいたり、冊子にまとめて配布や掲示をするなどして広く伝えます。寄付募集は2015年12月～1月に実施し、毛布の配布とメッセージの募集も年末年始に行います。そして年末から3月にかけて情報発信を行います。電気毛布の提供は、常総市で水害被災にあった世帯の中で、当事者が発信し、共感を広げる活動に参加いただける世帯(300～500世帯)を想定しています。この方々と応援する市民や団体をつなぎながら、理解と共感を通じて支援の輪を広げ、被災した住民全体に効果が及ぶようにします。

#### ●常総市の復興には、住民自身が動き、つながることがどうしても必要です

寄付を通じて多くの世帯に電気毛布を配れば、寒い中で暮らす人たちにぬくもりを届けられます。そして、突然水害にあつた際にどんな困難に直面するのか、慣れない避難先や壊れた家の中でどんな生活を送っているのか、大事なものや資産を失った人たちの心境、住民が望んでいること、などを多くの人から知ることができます。住民側も、自分たちは取り残されていると感じがちですが、毛布を介した励ましにより勇気づけられ、少しでも前向きになることができます。当事者が声を出すという参加のプロセスを作ることで、これまで行政や自治会に任せがちだった常総市の住民参加を進めたり、外国人も含め多様な住民の声を復興計画に生かします。ぜひ、このプロジェクトに寄付でご参加いただければと思います。詳しくは、茨城NPOセンター・commonsのWEBをご参照ください。

<http://www.npocommons.org>

tel 0297-44-4281 (横田)

## 問題を解決する

k2 マネジメント代表取締役 葛田 一雄

鉱山業を開業し、資源産業の発展に寄与した人物が久原房之助(くはらふさのすけ1869年～1965年)である。久原の出生地は山口県萩市であるが、日立市と所縁が深い。

久原は、閉山危機にあった秋田県の小坂鉱山を建て直した。その後、赤沢銅山を買収し日立鉱山と改称して開業した。ところが、銅の生産量が増大するにつけ製錬所から排出される煙が被害をもたらす。山林や農作物を枯らした。久原は問題解決対策を樹立し、建設当時世界一といわれた大煙突の着工に踏み切る。そして、煙害問題を解決した。

### 1. 問題の要因

問題とは、あるべき姿との乖離であるが、経営の問題とは、放置できない「当然に解決すべき事項」である。そこで、解決のために効果的な管理が求められる。仕事の成果要素は6つの領域がある。6つの領域とは、品質(QUALITY)、原価(COST)、納期(DELIVERY)、生産性(PRODUCTIVITY)、安全(SAFETY)および志気(MORALE)である。役員は、6つの領域に不適合が発生しないように問題を洗い出し、適切な改善を加えることになる。

#### (1) 要因を調べる視点

要因を調べる視点は4Mである。4Mとは、原材料(MATERI-

AL)、機械(MACHINE)、担当者(MAN)および方法(METHOD)である。仕事の成果要素に不具合が生じる場合、4Mのいずれかに要因がある。4Mを経験と知識を駆使して、診断し、事前に手を打つことが求められる。

#### (2) 問題を看視する

看視とは留意しつつ見守ることをいう。問題とは、あるべき姿と現状との乖離であるから、あるべき姿でないとしたら、ムリ、ムダあるいはムラが生じていることになる。ムリ(無理)とは道理がないことであるし、理由の立たないことである。ムダ(無駄)とは、徒であり、益のないことあるいは益のないことである。ムラ(斑)とは、元来、色の濃淡、物事の揃わないことであり、不揃いをいう。ムリ、ムダ、ムラの3つを括り3ムといい、3ムが発生すると業務が停滞する。

##### ①ムリの排除

準備不足の状態あるいは強行に実施するために通常の経営活動を停滞させてしまうためのムリがある。

##### ②ムダの排除

人・設備・費用を投入しすぎるムダ、こりすぎのムダ、過剰品質のムダ、過大生産のムダ、余分な費用(資材費、外部費用)のムダなどがある。

##### ③ムラの排除

先を読んで手を打たなかつ

たために生じたムラがある。能力が不揃い、レベルに差がありすぎるなどというときにもムラが生じる。

工程管理手法などの技法を駆使することによって3ムを看視し、排除することが求められる。

### 2. 経営管理課題

経営管理課題はSHELのいずれかに潜んでいる。Software(ソフトウェア)は、慣行、マニュアル、教育に関する問題である。Hardware(ハードウェア)は、建物、設備、道具に関する問題である。Environment(環境)は、段差、広さ、照明、高さなど作業環境に関する問題である。Liveware(人)は、技術、知識、心理的要因に関する問題である。

Software(ソフトウェア)、Hardware(ハードウェア)、Environment(環境)およびLiveware(人)のどこかに課題があることを洗い出し、解決のための管理行動が必要となる。

#### (1) つもり違い

仕事にも課題解決にも、したつもりでいたが実はしていないなど「つもり」違いが起きる。

##### ①つもり違いを排除する

「したはず」、「できているはず」、「終わっているはず」などつもり違いが生じると管理の質維持できないどころか質が

低下する事態に陥る。管理は、「したはず」ではなく、管理を「している」事実が求められる。

### ② 標示をする

滞留状態、稼働状況、進捗実績を標示する（見える化）ことによって管理の質を維持する。

### ③ 未然防止する

ミスを防止する仕組みが必要である。予防的管理が必要である。

### ③ 模擬訓練を実施する

準備万端は、管理にゆとりを持つために必要だが、準備の一環として模擬訓練を管理手段に組み込む。間違いを犯す危険性あるいは潜在的な弱点を改善するために模擬訓練は効果がある。

### (2) 課題解決のための理論

経営管理課題解決のための理論を2つ例示する。

#### ① Theory of Constraints (TOC) / 制約理論または制約条件の理論

業務改革に関するシステムの弱い部分を改善するための理論である。TOC改善のステップは5つある。制約条件を特定する。制約条件を徹底活用する。他のすべてを制約条件に従属させる。制約条件の能力を強化する。

#### ② Theory of Inventive Problem Solving (TRIZ) / 発明的問題解決理論 (トゥリーズ)

250万件の特許に基づき、問題解決パターンを分析整理し定式化したものである。

問題解決を思い付きや試行錯誤で行うのではなく、矛盾を抱えた問題の解決手法、問題をシステムとして捉える問題定義手法、技術進化の流れの中で適用されてきた標準的な問題解決手法、求める機能それぞれから検索する。多面的な効果を網羅した逆引き知識辞書でもあり、発想のプロセス化の手法などで用いる。

### 3. 三現主義管理

現場に行く、現物を観察する、現時点で解決する。この手順による管理を三現主義管理という。

#### (1) 現場管理の基盤

三現主義管理は、現場管理の基盤であり、現場に行かないで机上で議論しても本質は見えないし、現物を見なくして瑕疵や欠陥は分からない。問題を解決する視点としては、当面の解決と恒常的解決があるが、緊急対応策をはじめとした当面どうするのかという現時点解決なくしての解決策では机上の理論に終わってしまう。

三現主義管理は、実効性を第一義にしたものであり、問題の「視(み)える化」が効果的である。「視(み)える化」とは、層別化であり、現物や現品を見分けるサインである。

識別表示には、識別区分と区分表示がある。識別区分とは、質的または量的に異なる区分をすることである。区分表示は、区分して分けることであり、類概念をそれに従属する種概念に分けることである。

#### (2) 安全管理の基盤

安全は全てに優先する。安全の確保は役員の最優先課題である。そこで、役員として職場で実践させたい技法を5つ例示する。三現主義管理を基盤にした安全管理技法である。

#### ① Safety and Health Management / 安全衛生管理

現場の安全は、5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）に始まる。担当者に個人保護具（PPE / Personal Protecting Equipment）を支給することは労働安全衛生法が定める経営者の責務である。

役員として全体計画、設計段階から安全および衛生に気配りする。工事段階で重大事故が発生する確率が高いので、安全実施体制、作業員の教育、作

業環境の整備、安全施設、安全保護具、安全行動に配慮する。

#### ② Safety Task Assignment (STA) / 安全業務指示

管理監督者が担当者に仕事の指示をする際の留意点である。仕事の指示だけでなく、安全上の注意事項や安全行動についても説明をする。担当者には安全業務指示を良く理解し、遵守させる。

#### ③ Tool Box Meeting (TBM) / ツールボックス・ミーティング

管理監督者が職場、工具箱の横で担当者を集めて行う打ち合わせである。体調の確認や個人保護具点検、業務予定、仕事の手順など説明を行う。

#### ④ SC-5 / 5分間安全点検

SCはSafety Checkである。担当者が仕事を始める前そして終わる前に5分間程度、自分の職場の安全性を点検することをいう。

#### ⑤ Hazards Prediction Training (KYT) / 危険予知訓練

起こりうる危険を予知する能力を担当者に身に付けさせる訓練である。KYTは、管理監督者が業務状況を示す簡単なスケッチを担当員に見せて、予想される危険について全員に意見を言わせる。管理監督者は、起こりうる危険および予防策を説明する。最後に結論を全員で唱和する。

久原房之助は、久原鉦業として日立鉦山の骨格を作りあげ、日立市を日本有数の鉦工業都市として発展させる基礎をつくった人物であるが、問題解決行動の先駆者の1人である。

日立鉦山を母体として久原財閥が誕生し、その後、日産コンツェルンが形成された。日産自動車、日立製作所、ジャパンエナジーおよび日鉦金属は久原鉦業の分家ということになる。

# Seminar & Business

## セミナー・事業等のご案内

＝詳細は、事務局までお問合せください＝

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
第6回 マネジメント力 向上研修	① 1月13日(水) ② 1月19日(火) ③ 2月9日(火) 10:00～17:00 全講 20,000円 単講 8,000円	①管理の基本 ②変革への管理 管理のプロセスなど ③育成と啓発 信頼関係の形成 よい管理の実現	日本産業訓練協会 主幹講師 府川 亮一氏	ホテル レイクビュー 水戸
春季労使交渉・ 労使協議対策 講演会	1月28日(木) 14:00～16:00 3,000円	「2016年の春季労使交渉・労 使協議に対する経営側の基 本的考え方」 ～2016年版経労委報告、労 使交渉・労使協議の手引き の解説～	(一社)日本経済団体 連合会 労働法制本部上席 主幹 布山 祐子氏	茨城県産業会 館 研修室

## 地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、


未来に向かって力強く前進いたします。



筑波銀行は地域復興支援プロジェクト「あゆみ」に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

 筑波銀行  
Tsukuba Bank



「ともに、いきる」を実現する大学  
茨城キリスト教大学

文学部

- 文化交流学科
- 現代英語学科
- 児童教育学科児童教育専攻
- 児童教育学科幼児保育専攻

生活科学部

- 心理福祉学科
- 食物健康科学科

看護学部

- 看護学科
- 経営学部
- 経営学科



携帯から簡単アクセス▲

〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 JR常磐線大鏡(おおみか)駅隣接  
<http://www.icc.ac.jp/>  <http://www.icc.ac.jp/m/>


心を込めて、信頼できるカーライフ  
茨城トヨタ

**PRIUS**  
HYBRID Series プリウス

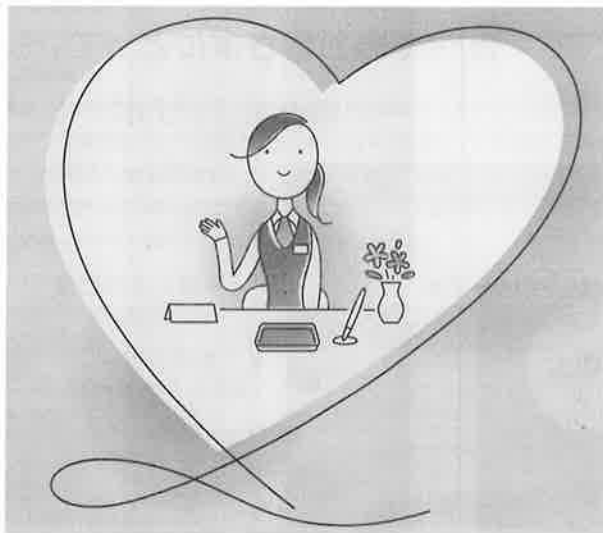


茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851  
 TEL 0120-090110  
<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。  **TOYOTA**

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも  
ご利用しやすい銀行を  
めざしています。

ベストパートナーバンク



## 経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

**開催日** 毎週木曜日 ①10:00~12:00  
(祝日は除く) ②14:00~16:00

**会場** 経営者協会・相談室  
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

**申込方法** 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

### Flow chart

**賃金関係** 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか？

**労働組合** 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか？

**助成金制度** 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか？活用できる助成金制度について教えて欲しい。

**人事労務** 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

**精神疾病** メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか？

**その他** 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関するこの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室  
が総合窓口  
(ワンストップ)

課題解決に最適な専門家を紹介

協会・顧問弁護士  
清水謙弁護士  
大和田一雄弁護士

社会保険労務士

税理士

経営  
コンサルタント

その他  
各専門家

お問い合わせ：一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)  
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109  
E-mail gotou@ikk.or.jp